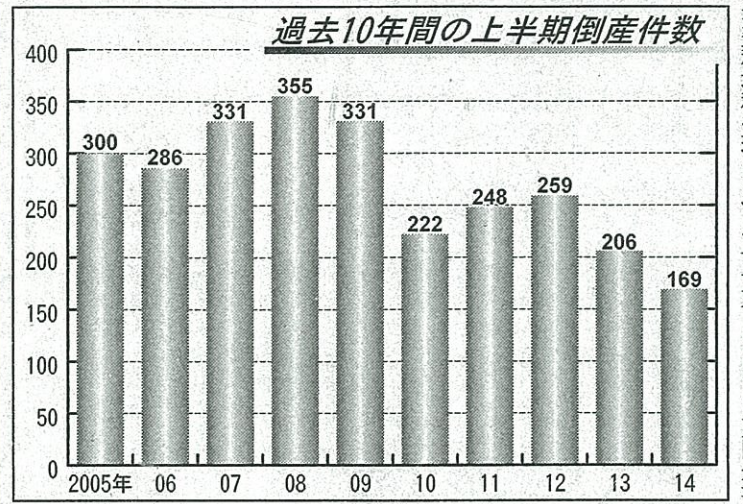


# 上半期倒産

## □…東京商工リ 建設業4割

東京商工リサーチ北海道支社が2日発表した北海道地区の倒産状況によると、2014年上半期(1-6月)の倒産件数は前年同期比18%減の169件で、現在の基準で集計を始めた1971年以降最少となった。負債総額は、カプトデコムの大型倒産があった前年の

消費増税を理由とする。一方、5000万円未満



同支社では、金融機関による企業向け金融緩和の継続が倒産を抑制しているとの説明。先行きについては「経営改善が進まない融資先を金融機関が選別することが想定される」とし、増加に転じる可能性が高いとみている。建設や運輸、小売といった業種では、人手不足による倒産が懸念されている。

8月7日付で子会社のツルハに「ビッグダウン本部」を設け、出店所や出店時期に関する検討を進める。同社では「適地が決まり次第、順次出店していきたい」と説明。各地で

道内金融機関が3月までに実施した貸し付け条件変更など企業向け金融緩和の件数は約12万7000件で、金額は2兆9000億円に上ることが、北海道財務局のまとめ

## 3月末で12.7万件

道財務局まとめ

### 銀行などの企業向け金融緩和

めに分かった。企業からの申し入れにどれだけ応じたかを表す実行率は94.1%。銀行、信用金庫、信用組合のいずれの業態も9割を超えた。中小企業金融円滑化法施行後の2009年12月からの実績をまとめた。時限立法だった同法は2度の期限延長を受け13年3月に失効したが、その4カ月前に金融庁が出した監督指針に基づき、法の終了後も各金融機関による実質的な企業向け金融緩和が続いている状況にある。

各金融機関による金融緩和の件数は12万7159件で、金額は2兆9519億8100万円、信用金庫が57992円、信用銀行が8888件、00万円行が94.8%が93.8%94.6%申込件立から時少なく直近の3月まで3月までは1万2千だった

# 北区で分譲MS計画

## 日本グランデ 9月上旬に着工

日本グランデ(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、

札幌市北区分譲マンションのグランフェール札幌グランパークス新築を

計画している。自社で設計を進めており、9月上旬の着工を予定して

いる。規模はRC造、14階、延べ38300平方メートル、2LDK13戸、3LDK13戸、4LDK14戸の計40戸を設ける。

太陽光発電システムやエネルギー利用を最適化するエネルギーマネジメントシステム(スマートHEMS)、電気自動車

**FM** 各種業務に  
北海道ファシリテイ  
マネジメント協会  
011-231-4851

建設地は札幌市北区分譲地は札幌市北13条西2丁目4ほか。地下鉄の北12条駅や札幌駅へのアクセスも良い。完

## 主体は島影らJVに

つかいの実会

## 4日から参加受付



【苫小牧】日本CCS調査(本社・東京)が苫小牧沖で進めるCCS(CO2の回収・貯留)大規模実証実験で2日、CO2の分離・回収プラントなど

地上プラントにCO2貯留技術

上段件数	申し込み	実
19億8		
態別の内		
6711		
5億84		
金庫が5		
7992		
円、信用		
8888件、		
00万円		
行が94.8		
が93.8%		
94.6%		
申込件		
立から時		
少なく直		
近の3月		
まで3月		
までは1		
万2千た		